

学校関係者評価報告

学校名 愛媛県立今治工業高等学校

学校番号 (17)

評価実施日		令和3年2月18日(木)	
委員	氏名	所属等	備考
	矢野直幸	学校評議員	
	長野加代	学校評議員	
	山本雅晶	学校評議員	
	藤枝晃	学校評議員	
	武田徳夫	学校評議員	
	伊藤英男	P T A 会長	
	岡田直樹	P T A 副会長	
	野間奈美	P T A 副会長	
	山岡憲司	P T A 副会長	
瀬川恵美	P T A 副会長		
評価・提言等		提言等に対する改善方策等	
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 今まで無かった学習方法を取り入れるなど、改善が図られ、成果が出ているのではないか。 専門性ととともに、「広い視野と深い思考」ができるよう学ばせる必要がある。 <p>(2) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会状況のよくない中、本校の就職内定率は高く、指導の成果が出ている。 離職しないよう個々の適性を見極めたアドバイスをしてほしい。 <p>(3) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会の閉塞感が子供達にも悪影響を与えているのではないか。 生活環境や意識の違いなど難しい点はあるが、家庭との連携等の課題はあるかと思う。 卒業後も継続する基本的な生活習慣を身に付けさせてほしい。 <p>(4) 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 制限のある中、感染対策を取りながら学校行事が開催できたのはよかった。 部活動に励んできた生徒達にとって成果の機会が失われたことは残念であるが、それが今後の糧になることを望む。 個人の特性を伸ばして自信を持たせることが大切である。 <p>(5) 工業教育推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 資格取得率や合格率を見ると、指導の充実を感じる。 資格を持つことの大切さを理解させ、卒業後も資格取得に努めるよう指導してほしい。 <p>2 学校運営への提言</p> <p>(1) 生徒達は、伸び伸びと学校生活を楽しんでいるので、教員もゆとりを持ち、生徒達の未来を見つめてほしい。</p> <p>(2) 制約された社会生活や活動の中、変わらない指導を望む。</p> <p>(3) 子供達も、これまでの生活がいかに恵まれていたかが分かったのではないか。</p>		<p>1</p> <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 試行錯誤の部分もあるが、ICTを活用した授業の研修会を開くなどして、新しい形態を作っていきたい。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒本人の希望を第一義に、マッチングフェアなどを行い、生徒が自分に合った職業に対する理解を深められるように更に努めたい。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が安心して心の問題等を打ち明けられる体制や、家庭と双方向で情報がいち早く得られるような関係作りにしかりと取り組んでいきたい。 精神的に幼いままで軽い気持ちで物事に向かう生徒が多くなっているため、繰り返し指導していきたい。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度得た制約の中で実施するためのノウハウについて、活用できるものは今後とも活用したい。 部活動について、技術面だけでなく、精神的な面でも成長を促すことができるような指導に努めたい。 制約解除後に向けて、活動の継続化と活性化に努め、今後も全国を視野に入れて活動できる部を増やしたい。 <p>(5)</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に資格取得に向けた指導を行っているが、資格そのものの価値について理解させられるよう努めたい。 <p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業後、どのような社会情勢においても、自分の足で立って考えられるよう、場面場面を生かして指導していきたい。 社会環境が変わった中で、変化に対応しながら、根幹となるところは堅持して指導するように学校全体で努めたい。 	